

正誤表

このたびは、弊社刊『中学入試にでる順 理科 力・運動・電気・光, 物質・エネルギー』の記述に誤りがありました。お詫びとともに訂正させていただきます。

最終更新日：2024年1月26日

ページ	誤	正
P11 図4のさおばかりの問題の1つ目	■訂正の背景・解説 おもりの距離にかんする定義があいまいでした。 仮におもりが1つしかないと仮定します。また、それを10gとします。考えやすいように糸の左右のうでの長さが等しく、支点からの距離は、AがBの2倍とします。そうすると、Aに10gを吊るしたときは10g以上がはかれる範囲ですが、Bに10gを吊るすと5g以上がはかれる範囲となります。	
	■誤 皿をAにつると、Bにつるとよりかはかれる範囲が【広】くなる。	■正 皿をBにつると、Aにつるとよりかはかれる範囲が【広】くなる。
P11 図4のさおばかりの問題の2つ目	皿Bにつると、軽いものをはかるときにおもりを動かす距離が【長】くなるので、	皿Aにつると、軽いものをはかるときにおもりを動かす距離が【長】くなるので、

<p>P13</p> <p>入試で差がつく ポイント 1問 目の2~3行目</p>	<p>このとき、台ばかりBの値は、C点からカメまでの距離に</p>	<p>このとき、台ばかりBの値のふえ方は、C点からカメまでの距離に</p>																								
<p>P61</p> <p>ゼットイに押さえるべきポイント 2問目の1行目</p>	<p>□ ふりこの周期は、ふりこの長さや振れ幅によらない。これをふりこの【等時性】という。</p>	<p>□ ふりこの周期は、ふりこの重さや振れ幅によらない。これをふりこの【等時性】という。</p>																								
<p>P69</p> <p>入試で差がつく ポイント</p>	<p>■問題文 飛ぶ距離はおよそ【92】mになる。</p> <p>■表</p> <table border="1" data-bbox="683 874 1173 938"> <tr> <td>打ち出す速さ[km毎時]</td> <td>9</td> <td>18</td> <td>36</td> <td>54</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>水平距離[m]</td> <td>0.64</td> <td>2.55</td> <td>10.2</td> <td>23.0</td> <td>51.7</td> </tr> </table>	打ち出す速さ[km毎時]	9	18	36	54	81	水平距離[m]	0.64	2.55	10.2	23.0	51.7	<p>■問題文 飛ぶ距離は【7.68】mになる。</p> <p>■表</p> <table border="1" data-bbox="1393 874 1892 938"> <tr> <td>打ち出す速さ[km毎時]</td> <td>9</td> <td>18</td> <td>36</td> <td>54</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>水平距離[m]</td> <td>0.64</td> <td>1.28</td> <td>2.56</td> <td>3.84</td> <td>5.76</td> </tr> </table>	打ち出す速さ[km毎時]	9	18	36	54	81	水平距離[m]	0.64	1.28	2.56	3.84	5.76
打ち出す速さ[km毎時]	9	18	36	54	81																					
水平距離[m]	0.64	2.55	10.2	23.0	51.7																					
打ち出す速さ[km毎時]	9	18	36	54	81																					
水平距離[m]	0.64	1.28	2.56	3.84	5.76																					
<p>P96</p> <p><性質で分類する >表の「アルカリ性」の「主な性質」</p>	<p>【青】色リトマス紙を【赤】色にする。</p>	<p>【赤】色リトマス紙を【青】色にする。</p>																								

<p>P152 テーマ 31 の解説 (P69 入試で差 がつくポイントに 対応)</p>	<p>距離が約 4 倍, 約 9 倍に… になっている。 ~~中略~~ 時速 54km のときの約 4 倍</p>	<p>距離が約 2 倍, 約 3 倍に…に なっている。 ~~中略~~ 時速 9km のときの約 12 倍</p>
---	---	---